

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2012年1月号 通巻37号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2012

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

ハクビシン続伸

タヌキよりも生息数が多いのかも？

年	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
タヌキ	2	2	7	6	8	9	23	47	104	156	175	152	127
ハクビシン			1				2	4	18	42	149	175	237
アライグマ				1					3	4	11	13	19

東京タヌキ探検隊！データベースより、東京都23区での各年の目撃情報数(2011年12月31日現在)。目撃年がはっきりしている情報を後に追加したものの

もある(そのため、今後も情報数は増加する)。メールでの情報以外に新聞などのメディア、Webでの情報、宮本自身の目撃、聞き取り情報なども含む。

全世界のタヌキスキーの皆様、明けましておめでとうございます。いや、ハクビシンストやアライグマニアの皆様も、と言うべきでしょうか…。東京タヌキタイムズも4年目、今年もよろしくお祈りします。

ハクビシンの生息数は？

まずは上の表をご覧くださいませ。これは東京タヌキ探検隊！データベースでの各年の目撃情報数です。こうしてみると前半は何にもやるのがなかったということがバレバレですね(苦笑)。目撃情報が急速に増えたのは、これらの動物たちの数が増えたということではありません。パソコン、インターネット、ネット検索といったテクノロジーが十分に普及したからです。タヌキよりもハクビシンの増加が遅れているのは、ホームページでタヌキ以外の動物の情報提供を本格的に呼びかけたのが2008年以降だからです。表の数字と実際の生息数はまったく別物だということに注意してください。

だとしても、ハクビシンの目撃情報数の急激な増加には驚きです。2011年にはついにタヌキの2倍近くにまでなりました。ということは、ハクビシンはタヌキの2倍の生息数があるのでしょうか？

実はそうとは言い切れないのです。ホームページのアクセス解析をしてみると、検索語のトップは「ハクビシン」で、ダントツの31%。2位は「ハクビシン 画像」で7.6%、3位は「タヌキ」で5.5%です(2011年1~12月の集計)。他の検索語を含めてもハクビシンの方が注目されているのは確実です。また、タヌキに出会って驚くよりも、ハクビシンに出くわして驚く可能性の方が高いのかもしれない。特に、電線を歩く謎の動物を目撃した人はかなり驚くことでしょう。それやこれやの理由から、ハクビシンの方が目立ってしまっている可能性が考えられるのです。目撃情報の数だけで実際の生息数を推測することは现阶段ではできないのです。それでも、おおよぼにはハクビシンはタヌキと同程度の

規模で生息しているのだろう、という推測はしていいでしょう。

比較対象としてのハクビシン

東京「タヌキ」探検隊！なのにハクビシンやアライグマも調べるといのは奇妙に見えるかもしれませんが。しかし私は比較対象になる動物がいてくれることに感謝しています。比べる相手がいるからこそ、それぞれの動物の特徴がよくわかってくるようになり、その結果タヌキの研究にも役立っているのです。ですので今後もハクビシンやアライグマやアナグマやキツネの目撃情報をどんどん教えてください。もちろんタヌキもです！

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>